

令和5年度 兵庫県立伊丹西高等学校 学校評価

学校教育目標	重点目標
校訓「克己・協調・創造」の理念に基づき、自分に打ち勝つ強い心や他者に対する思いやりの心、目標に立ち向かうチャレンジ精神を養い、生涯にわたって生きがいのある人生を切り拓き、常に社会の発展に貢献できる人材を育成する。	①学習内容の定着 ②信頼感を基盤とした生徒指導の充実 ③キャリア教育の推進 ④人権を尊重する教育の徹底 ⑤部活動の活性化 ⑥特色ある学校づくり ⑦「開かれた学校」の推進 ⑧国際理解教育の推進

【生徒・保護者・教員・総合評価】	
A :	4.0～3.4 優れている
B :	3.3～2.4 概ね良好
C :	2.3～1.0 要改善

*各項目は4段階評価で回答

領域	重点目標	担当	質問番号	質問項目	生徒評価						保護者評価						教員評価		総合評価		評価についてのコメント							
					1年	R4	2年	R4	3年	R4	1年	R4	2年	R4	3年	R4		R4		R4								
学校経営	「開かれた学校」の推進	総務	1	本校の校訓を知っていますか。	2.8	B	B	2.9	B	B	2.6	B	B	2.0	C	C	1.9	C	C	1.7	C	C			B	B	・ 終業式など節目にあたる場面で、生徒支援部長から校訓に関連する講話を聞く機会があり多くの生徒に周知できた。 ・ 全校集会などの講話、学年集会や学年通信にもリンクさせ、定着するように取り組んだ。	
		学年	2	(生徒)あなた(保護者)お子様は楽しく学校に通っていると思いますか。	3.4	A	B	3.1	B	B	3.3	B	B	3.2	B	B	3.1	B	B	3.2	B	B	3.8	A	A	B	B	・ 評価「A」は、日頃の生徒とのコミュニケーションをかかさず行っていることが生きている。(1年) ・ 行事では生徒の自主的な活動を増やし、生徒が楽しく参加できるように努め、事後の振り返り(アンケート)では自己評価が高まるように工夫し、アンケート結果は生徒にフィードバックを丁寧に行った。(1年) ・ 学校行事で主体的に活動する姿が見られた。一方、学習や進路・部活動等の不安や悩みを抱える様子もある。(2年) ・ 日々の生徒の様子を観察し、家庭との連携を密にするとともに必要に応じてカウンセリングなどの支援も行った。(3年)
		学年	3	学年集会などを通じて、学校からの情報はよく伝えられていると思いますか。	3.3	B	B	3.1	B	B	3.1	B	B	2.7	B	B	2.7	B	B	2.7	B	B	3.0	B	B	B	B	・ 学年集会の各部からの話の内容を事前に学年会議で共有し、内容の精査に務めた。また、ミマモルメ・BYODを活用した連絡等の情報発信も適宜行うことができた。(1年) ・ 生徒を通じての情報が保護者に伝わりにくい実態が見受けられるため、工夫が必要である。(2年) ・ 保護者評価が低いため、保護者への情報発信の方法の工夫が必要である。(3年)
		総務	4	学校ホームページは見やすく充実していると思いますか。	3.0	B	B	2.9	B	B	3.0	B	B	2.8	B	B	2.7	B	B	2.8	B	B	3.1	B	B	B	B	・ ペーパーレス化が進む中、行事予定などの閲覧が増加している。またオープンハイスクールの申し込みもHPからに一本化することで混乱なく情報発信することが出来た。 ・ ミマモルメなどの情報発信ツールの使用方法と共にホームページにおいてもその目的などを校内で協議して整理を進めたい。
		学年	5	学年通信やPTA広報誌などを通して学校の様子が伝えられていると思いますか。	3.2	B	B	2.9	B	B	3.0	B	B	2.9	B	B	2.8	B	B	2.8	B	B	3.3	B	B	B	B	・ 学年通信を高い頻度で発行している。この項目には直接反映されていないが、各行事後のアンケートの回答率も上がってきている。生徒の振り返りコメントなども記入できるようにして、生徒の興味関心を高め、年度末のこの項目の評価につなげていきたい。(1年) ・ 学年通信等で情報を発信しているが、項目3同様生徒で情報が止まっている様子が伺える。修学旅行では生徒の様子をブログを利用して発信した。(2年) ・ 学年通信により、学年の取り組みを伝えることができた。また、西高祭・体育大会のライブ配信により、保護者に生徒の様子を知っていただくことができた。(3年)
		学年	6	面談や懇談会を通して、保護者と学校のコミュニケーションはとれていると思いますか。	3.2	B	B	3.0	B	B	3.2	B	B	2.9	B	B	2.9	B	B	3.0	B	B	3.2	B	B	B	B	・ 保護者会、夏季休業中の面談に加え、日頃の電話対応も丁寧に行うよう意識した。また、必要に応じて面談を行うことで、保護者と直接話して連携を図るよう努めた。(1年) ・ 2回の保護者会・夏の面談を実施した。必要に応じて、日々の電話連絡と面談を行っている。また、配慮が必要な生徒に関しては組織的な連携を図った。(2年) ・ 進路実現に向けて、面談・電話連絡など、必要に応じて家庭訪問を行うなど密に連携をとることができた。(3年)
		総務	7	多くの生徒が活躍するなど、オープンハイスクールは充実していると思いますか。	3.2	B	B	3.0	B	B	3.0	B	B	2.9	B	B	2.9	B	B	2.8	B	B	3.6	A	A	B	B	・ 熱中症対策として体育館ではなく、空調を稼働させて各教室でリモート配信による開催とした。校内の案内や各教室に生徒を配置し、教室では「先輩と話そう」と題して、学校生活や部活動などの生の声を近い距離で届けることができた。今後も生徒を全面に出すオープンハイスクールを実施していきたい。

領域	重点目標	担当	質問番号	質問項目	生徒評価						保護者評価						教員評価		総合評価	R4	評価についてのコメント							
					1年	R4	2年	R4	3年	R4	1年	R4	2年	R4	3年	R4		R4										
教育課程	学習内容の定着	教務企画	8	授業はわかりやすいように工夫されていると思いますか。	3.2	B	B	3.0	B	B	3.0	B	B	2.8	B	B	2.7	B	B	2.8	B	B			B	B	多くの教員が各教科でタブレットやICT機器を効果的に利用し、視覚的なイメージを高め、生徒の気づきをもたらすような工夫された授業を行うことができてきている。	
		教務企画	9	授業のねらいや評価規準などが明確に示されていると思いますか。	3.1	B	B	2.9	B	B	2.8	B	B													B	B	教員が考える様には、生徒や保護者に十分に伝わっていないと感じられる。評価方法としては定期考査だけでなくパフォーマンス評価を導入する教科が増えてきた。 評価規準について、各教科の取組は生徒に伝わっているようだ。しかし、保護者の低評価については、新課程の新しい評価法などの知識が少ないため、学校として面談などで丁寧に説明するようにすべきと考える。
		教務企画	10	家庭での宿題や課題は、適切な内容と量であると思いますか。	3.0	B	B	2.9	B	B	2.9	B	B	2.7	B	B	2.6	B	B	2.8	B	B			B	B	教員・生徒よりも保護者の数値が低い理由や、内容について検討する必要がある。 自学自習の習慣の確立を目標に、スタディサプリの活用や、各教科での評価方法の見直しなど、少しずつ方向転換を行っている。長期的な視点で取組み、フィードバックを大切に、生徒の自主的な学習姿勢を高めていきたい。また、取組みを次年度に引継ぐための分析作業も同時に進めていく。 提出型の課題よりも、生徒の自主的な学習活動や、パフォーマンス課題の推進を図るために、学校としての方針も固めていくべきと考える。(1年)	
	特色ある学校づくり	教務企画	11	様々な専門家や地域の方々など、学校は外部講師を積極的に活用していると思いますか。	3.2	B	B	2.9	B	B	2.8	B	B	2.7	B	B	2.7	B	B	2.6	B	B			B	B	ヒューマン類型の授業や講座では毎週、外部講師に来ていただいている。また、普通科の生徒にも外部講師を招いて進路や将来の設計に向けて小論文講座、金融学習講座などの講演会を実施している。 今年度の新たな取り組みとして、宝塚市役所や花里地区自治協議会との地域連携事業の効果が評価に反映されていると思う。(1年)	
		教務企画	12	「総合的な探究の時間」は、目標を明確にし、発表を行うなど充実した内容だと思いませんか。	3.1	B	B	2.7	B	B	3.0	B	B	2.7	B	B	2.6	B	B	2.8	B	B			B	B	生徒より保護者の数値が低い。自分が何を学習しているのかを生徒自身が保護者に十分に伝えられていないと考えられる。	
		教務企画	13	総合ヒューマン類型の特色ある取組は効果的だと思いますか。	3.3	B	B	3.2	B	B	3.2	B	B	3.0	B	B	2.9	B	B	3.0	B	B			B	B	生徒には活動内容が伝わっており一定の評価がされているが、総合ヒューマン類型以外の保護者にはあまり伝わっていないと思われる。	
	キャリア教育の推進	キャリア支援	14	進路に関する適切な情報が、学校から提供されていると思いますか。	3.3	B	B	3.1	B	B	3.2	B	B	2.6	B	B	2.6	B	B	2.9	B	B			B	B	「総合的な探究の時間」や進路ガイダンスを活用し、学問や職業への理解を深める取り組みに重点を置いた。 生徒、教員には進路情報が適切に提供されている。学年進行とともに進路に関する情報がより具体的になっていき、理解も深まっていると思われる。今後は保護者への情報提供を工夫する必要がある。	
		キャリア支援	15	学校は模擬試験等を継続的に実施し、事後の学習指導に生かしていると思いますか。	3.2	B	B	3.0	B	B	3.1	B	B	2.8	B	B	2.8	B	B	2.9	B	B			B	B	進研模試に加え、スタディサプリを利用し、基礎・基本的な知識・理解の確認を意識させた。 模擬試験は3年間を見通して、計画的・継続的に実施され、事後の進路指導に活用されている。また、スタディサプリにおける到達度テストは生徒個人の苦手分野の学習として事後に活用されている。	
		キャリア支援	16	進路ガイダンスや就業体験(インターンシップ)などを通して、進路意識が高まっていると思いますか。	3.3	B	B	2.9	B	B	3.1	B	B	2.7	B	B	2.6	B	B	2.9	B	B			B	B	生徒の進路希望に合わせた講義内容をキャリア支援部と精選したため、満足度の高い進路ガイダンスを実施できた。 各進路行事の開催時期が学年により違うので、今回の質問集計にすべて反映されていないが、実施後の生徒の評価は高く、成果は上がっている。一方、保護者への周知は難しい。	
	教育環境	信頼感を基盤とした生徒指導の充実	生徒支援	17	生徒会活動やホームルーム活動など、生徒は主体的に活動していると思いますか。	3.3	B	B	3.0	B	B	3.1	B	B	2.9	B	B	2.8	B	B	2.9	B	B			B	B	HR活動では、事前計画を念入りに行い、特にクラス単位での活動は生徒主体の活動(企画・運営)に務めた。委員長会議を適宜行い、学年集会の司会進行の担当、学年・クラスの目標の設定などを通して、生徒が主体的に取り組むことができた。 昨年度より生徒会役員を増員し、今年度は約15名での活動となった。生徒会を中心に生徒が主体的に活動する機会や場面は増えている。
生徒支援			18	集会などを通して、学校や学年の生徒指導方針はよく説明されていると思いますか。	3.3	B	B	3.1	B	B	3.0	B	B	2.8	B	B	2.8	B	B	2.8	B	B			B	B	今年度は意識的に交通マナーや校内でのルールについて全体で共有するようにした。今後も継続していきたい。 学年集会、朝のSHR・終礼などで共有すべき情報やマナーやルールの意義についても学年で統一して生徒に発信できた。	

領域	重点目標	担当	質問番号	質問項目	生徒評価						保護者評価						教員評価		総合評価	R4	評価についてのコメント				
					1年	R4	2年	R4	3年	R4	1年	R4	2年	R4	3年	R4		R4							
教育環境	信頼感を基盤とした生徒指導の充実	生徒支援	19	あいさつ・時間厳守・言葉遣い・服装など基本的な生活習慣は身につけていると思いますか。	3.4	A	B	3.1	B	3.2	B	A	3.1	B	B	3.0	B	B	3.1	B	B	B	B	・ 時差登校・登校指導は継続して行っている。また生徒会を中心に毎日の挨拶運動なども積極的にしている。 ・ 生徒情報の共有を密に行い、担任以外の教師から良いタイミングで声掛けができるように務めた。 ・ 登校指導は、ねらいを一貫して丁寧に説明し、根気よく関わるように務めている。	
		生徒支援	20	自転車交通マナーやルールをよく守っていると思いますか。	3.5	A	B	3.2	B	3.0	B	A	3.2	B	B	3.0	B	B	3.0	B	B	2.8	B	B	・ 自転車事故の現状などを下駄箱前に設置し生徒の意識を高めている。また交通安全講話やPTAと連携して校外指導も行っている。 ・ 安心・安全については、各教育場面に応じて適宜周知するように心がけることができた。
	部活動の活性化	生徒支援	21	部活動は生徒の自主的な活動を尊重したものになっていると思いますか。	3.4	A	B	3.1	B	3.1	B	B	3.1	B	B	2.9	B	B	3.0	B	B	2.9	B	B	・ 生徒の実態やニーズを理解しながら、可能な範囲で生徒主体で運営する機会を増やすよう心がけている。
	人権を尊重する教育の徹底	保健 (生徒支援)	22	悩み事を相談できる体制(保健室・親身になって聞いてくれる教員・スクールカウンセラーなど)が整っていると思いますか。	3.2	B	B	3.0	B	3.1	B	B	2.8	B	B	2.7	B	B	2.9	B	B	3.2	B	A	・ キャンパスカウンセラーの来校日の掲示するとともに、生徒が気軽に利用できるような周知を心がけている。
		人権 (生徒支援)	23	人権に配慮したいじめのない学校づくりが進められていると思いますか。	3.2	B	B	2.9	B	3.1	B	B	2.8	B	B	2.8	B	B	3.0	B	B	3.1	B	B	・ 学期に1回のいじめ等に関するアンケートの実施を行うなどしている。 ・ 人権学習として、学校生活における身近な場面をテーマとして扱い、自他の考えを尊重する大切さを実感できたようだ。また、事後アンケートを学年通信を通じてフィードバックし、生徒は様々な意見を知り理解を深め、保護者にも活動の内容を知って頂く機会になったと思う。(1年)
		人権 (生徒支援)	24	花づくり委員会の活動や福祉施設との関わりを通じて、思いやりの心は育っていると思いますか。	3.2	B	B	2.9	B	2.9	B	B	2.8	B	B	2.8	B	B	2.9	B	B	3.0	B	B	・ 今年度は12月に人権講演会を実施し、「ヤングケアラー」を取り扱った映画を鑑賞した。ほとんどの生徒が高い関心を示し、問題意識をもつようになったことが事後アンケートから伺うことができた。
		情報教育 (生徒支援)	25	情報発信に伴う責任など、情報モラルの向上は図られていると思いますか。	3.2	B	B	2.9	B	3.0	B	B	2.8	B	B	2.9	B	B	2.9	B	B	2.9	B	B	・ 講演会や授業等で取り扱っている。講演会では、実際にスマホを操作しながら行い、身近な内容だったため、危機感を持つことができた。また、講演会後に内容をまとめて学年通信に掲載し、継続的に啓発を行った。学年通信を通じて、保護者にも情報の共有ができたと考える。(1年)
	校内環境整備	保健 (生徒支援)	26	教室や廊下など、学校の敷地内は整理整頓され、清掃はよく行われていると思いますか。	3.1	B	B	2.8	B	2.9	B	B	2.9	B	B	3.0	B	B	3.1	B	B	2.9	B	B	・ 通常の放課後清掃に加え、各学期2回以上大掃除を実施し、校内美化に努めている。また、3学期には生徒環境委員を中心、各クラスワックス掛けを行っている。定期調査の最終日に行う部活動大清掃により、通常の清掃区域外にも美化活動を拡大させている。
	防災教育	総務	27	避難訓練など非常時に対応した体制や訓練がよくなされていると思いますか。	3.2	B	B	2.8	B	3.0	B	B	2.8	B	B	2.8	B	B	2.9	B	B	2.8	B	B	・ 7月に大地震を想定したシェイクアウト訓練を実施した。また避難経路の確認やハザードマップを共有することで防災意識を向上させた。後期は、避難訓練weekを設定し、訓練日を事前に特定せず、放課後に実施した。
	国際理解教育の推進	国際理解 (総務)	28	学校で行っている国際交流(台湾・アメリカ)に関する取組について知っていますか。	2.3	C	C	2.1	C	2.4	B	B	1.8	C	B	1.8	C	B	1.7	C	B	3.1	B	B	・ 今年度は台湾とアメリカの高校との交流を実施する機会を設けた。台湾とのweb交流やアメリカとのメッセージカードの交換など生徒が準備し、様々な役割を果たして有意義な取り組みを行うことができた。引き続き色々な交流を行う機会を作っていきたい。
図書館の活性化	図書 (総務)	29	図書館は本が充実し、生徒が読書や学習などで利用しやすいように整えられていると思いますか。	3.4	A	C	3.3	B	3.2	B	B	2.7	B	C	2.7	B	C	2.9	B	C	3.4	A	B	・ 昨年度の評価に基づき、今年度は質問項目を「図書館の利用状況」から「本の充実度や環境について」へ変更し、生徒の図書館に対する親近感や活用のしやすさを問うことができた。引き続き利用しやすい環境を整え、生徒にアピールするとともに、ビブリオバトルなどの企画も活用して読書意欲の喚起に努めたい。	

【学校関係者評価】

- (2)・ 1年生の生徒が楽しく学校生活をおくっている様子を伺うことができる。
 - (3)・ 小学校も保護者連絡のデジタル化に取り組み始めて3年目である。徐々に保護者も子どもを介さず学校の情報を手に入れることに慣れてきている。今後、保護者の情報収集に対する意識も変化してくるのではないかと。
 - ・ 生徒を介しての保護者への情報発信が伝わらないというのは、小学校<中学校<高等学校と校種が進むにつれて難しくなると思う。コメントにもあるように「情報発信の工夫」が必要である。保護者の関心度にもよるが、間接的に情報を伝えるという方法は、これからは保護者に直接伝えるという方法にシフトしていかなければならないと思う。個人情報問題もあるが、既に取り組まれているミマモルメの活用や学校メールマガジンの発行・送信、ホームページの利活用等、修学旅行でのブログ配信や文化祭や体育大会のライブ配信をされたのと同様に日常的な取り組みにされてはどうか。*(4)(5)と関連したコメント
 - (5)・ 体育大会の様子を録画配信するなど学校教育活動の情報発信に努められていると思う。子どもの成長と共に保護者が欲しい情報が異なってくると思う。
 - (7)・ 体育大会の一部を参観させて頂いた。生徒会を中心とする生徒の皆さんの主体的な活動に、さすが高校生だと感じた。演技や競争はどれも活気にあふれていた。生徒の皆さんの達成感も大きかったことと思う。このような成功体験が自己肯定感を高めていくのだと思う。*(17)と関連したコメント
 - (13)・ ヒューマン類型での積極的な外部との取組みや、これまでの進路についても生徒や保護者に良い形で発信し、情報提供ができればより良い評価につながると思う。
 - (19)・ 花里小学校の正門前を通って自転車通学をしている生徒の皆さんが気持ちの良い挨拶を返してくれる。中には自分から「おはようございます」と言ったり、「いってらっしゃい」と声をかけると「いただきます」と返す生徒の数が増え、学校生活が充実していることが感じられる。
 - (27)・ 非常時に命を守る行動がとれる。また、適切に判断できる力を育むことは学校にとって大きな課題である。避難訓練weekの取組は必要であると思う。
 - (28)・ どのような進路を選択しても、よりグローバル社会に対応できる力を身につけるきっかけ・機会が増やせるならば、生徒からの評価にもつながると思う。特に英語にふれる機会がもって増えるようにできると良いのではないかと。
 - (29)・ 評価指標を変えられたのは、妥当だと思う。本離れの進んでいる高校生に読書に親しむ習慣をつけるのは大変難しいと思うが、読書が楽しいと思える取り組みを今後も引き続きお願いしたい。
 - ・ 図書館活用への評価から、とても意欲的に取り組んでおられるのが分かる。
- (他)・ 小学校の行事や授業研究会に西高の先生方に参加して頂くことができた。生徒の皆さんとの交流はもちろんだが、職員同士も地区自治協議会の一員として交流できたことは大変有難い。
- ・ 会議資料のPDF化による職員会議の定時開催の定着について、教職員の残業を減らし業務を効率化するのは大切だと思う。ペーパーレス化を図り会議時間の短縮、効率化を行えるところは積極的に改善を進めていただきたい。
 - ・ オフィスカジュアルWeekの取組について、様々な意見があり、課題は大変多いと思うが、社会や教育の転換期にあるとも言える現代において、是非とも積極的に取り組んで頂ければと思う。
 - ・ (1)(28)を除くほとんど全ての項目において1年生の評価が他学年に比べて高くなっている。特に(2)(19)(20)(21)(29)は「A」となっている。前回の評議員会で、1年生からの生徒会役員立候補者が多数いたとの報告もあり、自己肯定感や自主性の高い生徒が多くいると思われる。そもそも学校を楽しんでいることや先生方の取組の結果だと思う。学年の評価にも書かれているが、特に功を奏したと思われることや今後大事にしていきたい取組等が他にあれば教えて欲しい。
 - ・ 保護者の評価は学校について詳細知らないこともあるため、主として生徒と先生方との評価のギャップを意識して拝見させて頂いた。その中で生徒より先生方の方が評価が低いところが(謙遜されている部分か、色々方向転換を図られている渦中で判断が難しいのかと思うが)、議論すべきところなのだろうと思った。
 - ・ 生徒の学びについては、アクセスポイント(どこから取り掛かるのが良いかということ)を示してやり、生徒が入口を見つけられるように関わってやって欲しい。
 - ・ 保護者の評価は親子の関わりも関係するため、数値が低めに出ることはある程度仕方がないが、学校からの発信は大切にして欲しい。
 - ・ 以前より学校が落ち着いてきていることはとても良いが、そのことにより古い授業スタイルでも集中して取り組める生徒が増えているため、先生方の中には授業改善の必要性を感じにくいという部分があるのかもしれない。
 - ・ 毎年、頂く胡蝶蘭は大輪の花を咲かせ、施設の入所者の方々を楽しませてくれている。また、初夏に収穫したじゃがいもは管理栄養士によって高齢者の皆様においしく召し上げて頂くことができています。ありがとうございます。
 - ・ 小中学校でタブレットを配布されて活用してきた児童・生徒が高校に入学してきているので、高校での活用も進めて頂きたい。
 - ・ ヒューマン類型の取組は特色があるので、福祉施設として協力できることはさせてもらいたい。